


平成26年度「GKP広報大賞」エントリーシート

エントリーする団体名の名称 東京都下水道局		担当者氏名、所属、連絡先【電話、Fax、E-Mail】 神保 悟志（下水道局総務部広報サービス課） 電話 03-5320-6515 FAX03-5388-1700 E-mail Satoshi_Jinbo@member.metro.tokyo.jp
代表者氏名 東京公営企業管理者下水道局長 松浦 将行		担当者氏名、所属、連絡先【電話、Fax、E-Mail】
部門名 行政広報部門		事例名 「おしごと体験施設」 東京都虹の下水道館
事例の概要（適宜、写真、図、記事の画像等を挿入して下さい）		
<p>下水道局職員になりきっておしごとを体験！                  子どもたちが職員と同じ作業着を身につけ、都民の安全・安心な生活を守るために頑張り、最後には下水道の重要性を学べる体験型施設です。</p>		
		
<p>～主な「おしごと体験」～</p> <p><b>“体験その1” マンホールの中に入ろう！</b>                  安全帯を身につけ、マンホールから降りるとそこには老朽化した下水道管が                  ⇒再構築の必要性を学びます。</p> <p><b>“体験その2” 設備の点検をしてみよう！</b>                  いろいろな大きさや形の工具を使って、配管の取り外しや取り付けを体験                  ⇒日々の点検の重要性を学びます。</p> <p><b>“体験その3” 微生物を観察してみよう！</b>                  実際に流入してきた汚水を使い、顕微鏡で微生物を観察                  ⇒水再生センターの役割を学びます。</p> <p><b>“体験その4” ポンプを動かしてみよう！</b>                  実際に雨が降った時のデータを流し、中央監視室でポンプを動かし操作                  ⇒浸水からまちを守る体験を学びます。</p>		
<b>エントリー事例の特徴</b> <p>環境学習の一つ、「でまえ授業」でも十分下水道の重要性は学べますが、子どもたちが実際の職員と同じ服を着て、自分たちが働くことの楽しさや仕事の大変さ、さらにはすべてを成し遂げた後の充実感など、「見えない下水道」を見える化するだけでなく、体験することを通じて、下水道の重要性をPRしています。</p> <p>また、昨年度は子どもたちだけを対象としていましたが、ご家族から「親子で体験したい」との声があり、今年度からは「親子おしごと体験」をできるようにします。</p> <p>下水道の必要性を感じていただける方が増えていく相乗効果が現れていると感じています。</p>		